

経営比較分析表（令和3年度決算）

岡山県 美咲町

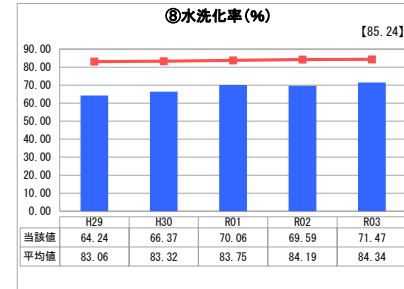
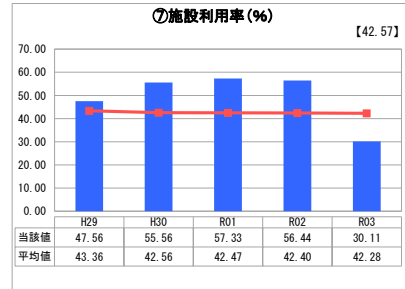
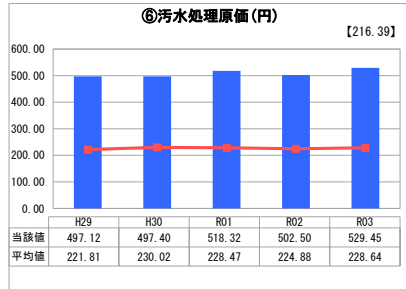
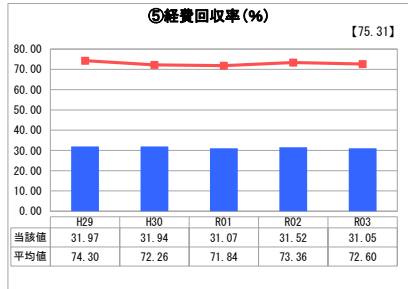
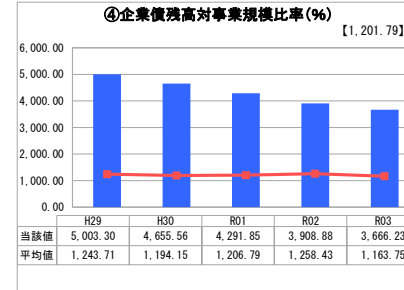
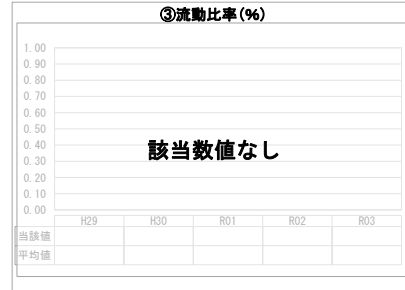
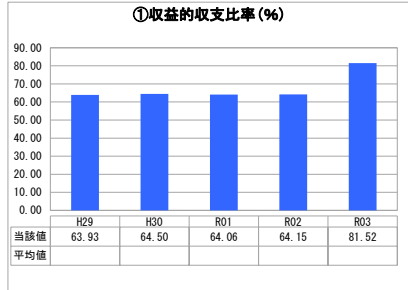
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	43.71	63.68	3,300

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,513	232.17	58.20
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,865	2.27	2,583.70

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①繰出し基準に基づき、一般会計からの繰入金を精査した結果、昨年度より数値が増加した。未計上であった高度処理に要する経費や高資本費対策に要する経費など適正な基準内繰入金を確保できたことが要因の一つである。なお、単年度収支は赤字を示していることから、経営改善に向けた更なる取り組みが必要である。

②平均値の約3倍という高い水準となっているが、年々減少傾向にあるため、企業債残高の規模は縮小されてきている。今後も「美咲町下水道ストックマネジメント計画」に基づく計画的な施設点検・更新による事業投資を継続させていく。

③経費回収率は平均値と比べ大きく下回っている。使用料金の見直しを含めた改善策の検討を行うとともに、未接続者への積極的な接続推進を図るなど接続率の向上に努める。

④低い接続率と地理的要因により汚水処理原価が平均値に比べ高水準となっている。積極的な接続推進、計画的な施設点検・更新によるコストの削減など改善策に取り組む。

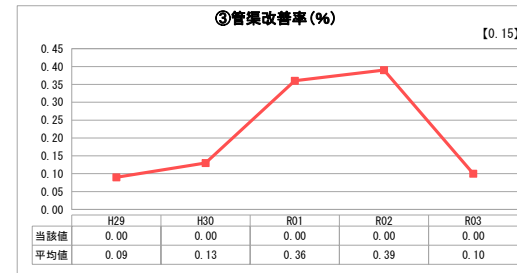
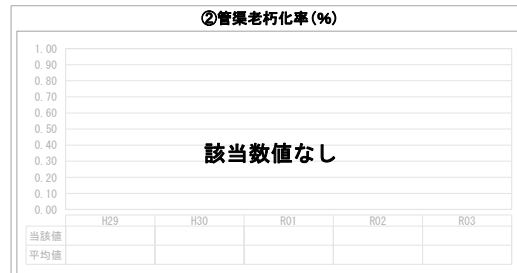
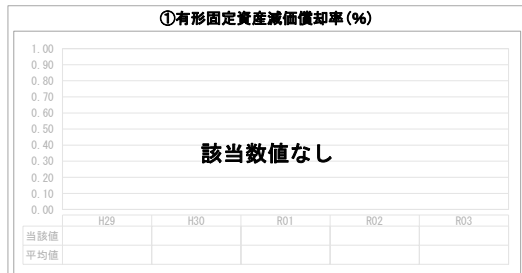
⑤施設規模の適正化を図るため令和6年度からの農業集落排水（飯岡処理区）との接続を計画。処理能力向上のため処理場増設を行った結果、前年より数値が大幅に下がった。農集との接続が完了することで施設規模に見合った処理水量が見込まれる。

⑥水洗化率は平均値と比べ低い値を示している。水洗化率の向上により水質保全問題の改善、使用料収入の増加が図られることから、未接続者への接続推進を行っていく。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率について
令和3年度から、美咲町下水道ストックマネジメント計画に基づく施設点検・更新を行っている。耐用年数を過ぎた施設や主要幹線など優先度の高いものから順次点検・更新を行い、施設等の計画的な維持管理に努める。

2. 老朽化の状況



全体総括

前年度に引き続き、経営収支に改善の余地がある。接続率の改善や料金体系の見直し、効率的な施設稼働の検討など営業収益の確保及びコスト削減に取り組む必要がある。更新費用の増加を見込んだ適正かつ健全な経営に努めるよう、経営改善の実施や投資計画の見直しなどを行っていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

経営比較分析表（令和3年度決算）

岡山県 美咲町

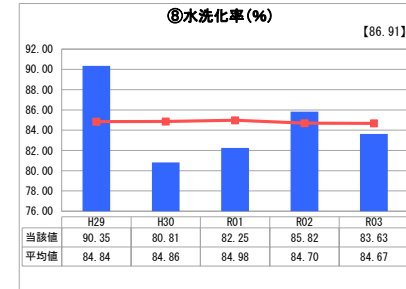
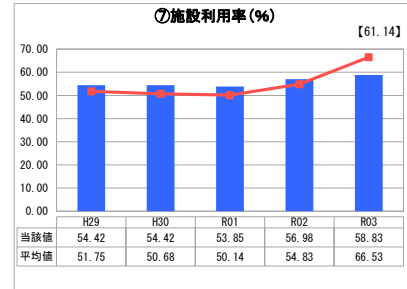
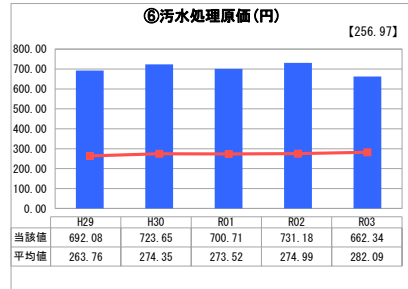
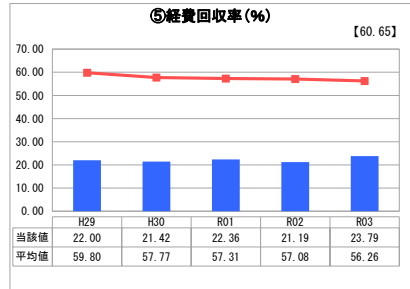
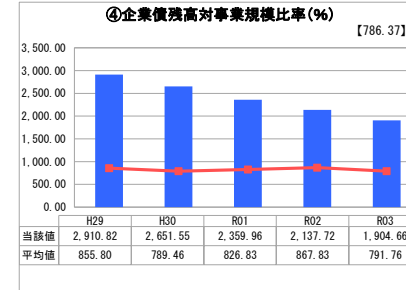
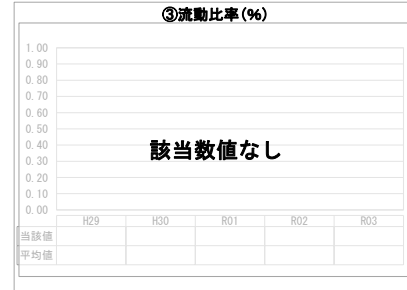
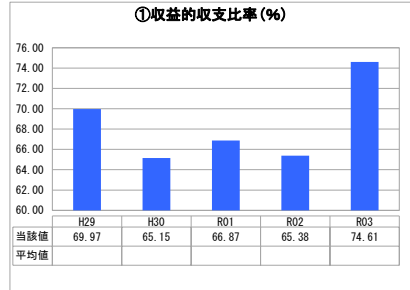
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	11.93	88.54	3,300

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
13,513	232.17	58.20
処理区域内人口(人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,600	0.54	2,962.96

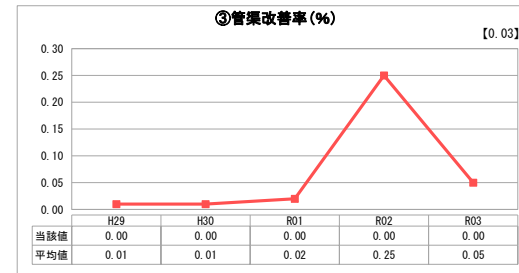
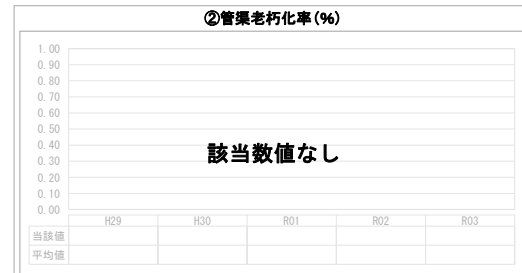
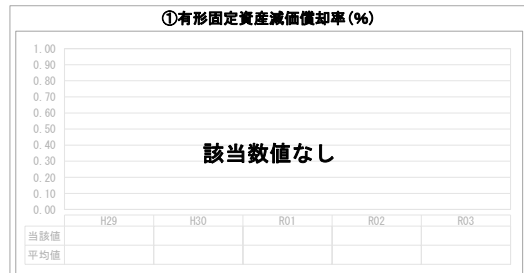
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率が100%未満であり、単年度の収支は赤字であることを示している。地方債償還金の減少により費用は縮小しているが、人口減少は避けられず、処理収益だけでは経費を賄うことができないため、一般会計繰入金等に頼っている現状がある。更なる費用削減、使用料金の見直し等による経営改善が求められる。

②企業債残高対事業規模比率は類似団体の平均値に対して高い数値を示しているが、年々減少傾向にあるため、企業債残高の規模は縮小されてきている。今後は施設更新等費用の増加が見込まれるため、計画的な投資に努める。

③経費回収率は平均値に比べると大きく下回っている。使用料金の見直しを含めた改善策の検討を行うとともに未接続者への積極的な接続推進を図るなど接続率向上に努める。

④汚水処理原価は平均の2倍以上となっており、経営の効率性について検討が必要である。接続率向上による有収水量の増加、維持管理費の削減などの取り組みが必要である。

⑤施設利用率は類似団体の平均値を下回っている。施設が遊休状態とならないよう適切な施設規模の維持に努める。

⑥水洗化率は前年より減少し、類似団体の平均をわずかに下回っている。人口減少は避けられないが、残りの未接続者へ接続を呼び掛けるなどして接続率向上を目指す。

2. 老朽化の状況について

固定資産台帳等の成果を基に耐用年数等施設全体の把握に努め、計画的かつ効率的な維持修繕・改築更新に取り組む検討が必要である。

全体総括

収益的収支比率が100%を下回っており、比率の向上に向け引き続き経営改善に取り組む必要があるが、人口減少に伴い、収益性の増加は見込まれず、処理収益だけでは経費を賄うことができないため、一般会計繰入金等に頼っている現状にある。また、施設の老朽化が進んでいるものもあり、その更新投資を料金収入で賄えていないため繰出し基準に定める事由以外の繰り出し金等を含め、事業継続に向けた対策が必要である。施設更新に向け、返済を平準化する計画的財源確保に努める必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。